特集

適用済・決定会社279社の対応を調査

IFRS任意適用企業の開示分析

第1章
この1年で新たに24社が適用
新規任意適用企業の一覧と初度適用時の開示パターン

第2章
リース、収益認識、BEPS２.０など
注記情報の開示分析

第3章
当期利益・純資産は減少傾向
調整表に関する開示分析

有限責任監査法人トーマツ　公認会計士　松澤　伸
有限責任監査法人トーマツ　公認会計士　柏村　俊夫
有限責任監査法人トーマツ　公認会計士　杉崎　聡
有限責任監査法人トーマツ　公認会計士　葛西　哲也
有限責任監査法人トーマツ　竹内　夏央
有限責任監査法人トーマツ　米国公認会計士・公認内部監査人　荻野　なみ

2024年6月末現在、IFRS会計基準の適用済・適用決定会社は、昨年同時期に比べて11社増加し、279社となった。本特集では、このうち有価証券報告書または、「上場申請のための有価証券報告書（Iの部）」を提出した企業を中心に開示内容を分析し、解説する。

IFRS任意適用企業の数は引き続き増加しており、今後の適用に向けた検討や実務の一環としてご活用いただければ幸いである。